

借り上げ
住宅問題

希望者すべての継続入居を

借り上げ期間満了時には65歳以上が6割超

2012年2月、西宮市はUR借り上げ住宅について、20年間を期限に住宅を返還し、他の住宅に転居を求めるという方針を発表しました。突然の転居を迫られ「夜も眠れない」と入居者に不安が広がり、借り上げ住宅問題は

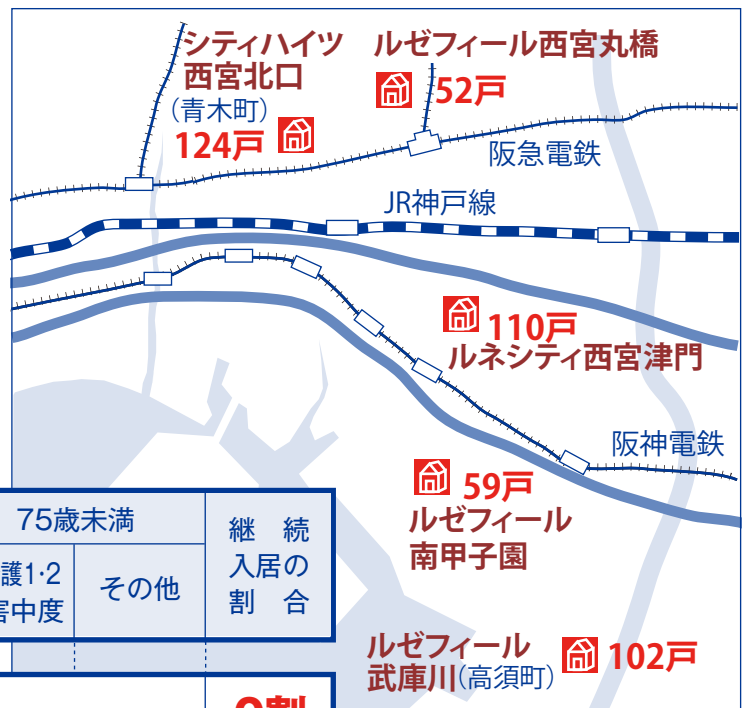
大問題となっています。

日本共産党西宮市会議員団は、「希望者全ての継続入居を」と4度の市長申し入れ、議会ごとに一般質問を行うなど、命とくらしを守る立場で奮闘しています。

自治体で対応はバラバラ

当初、兵庫県、神戸市、西宮市は、借り上げ住宅の返還とその入居者全員に他の公営住宅等への転居を求めています。日本共産党は、議会で継続入居を求める質問を繰り返し行い、自治体交渉や署名など入居者による運動も取り組まれる中で、兵庫県が約4割の継続入居、神戸市が約3割の継続入居を認める新たな方針を発表。しかし、住み続けられるのは、重度の要介護者や障害者等に限定されています。下記表のように、対応は自治体ごとにバラバラで、県全体では6割以上の入居者は転居を迫られることになります。

阪神淡路大震災後、西宮市がURから借り上げた住宅



基準	要介護 3~5	障害 重度	85歳 以上	80~84歳		75~79歳		75歳未満		継続 入居の 割合
				要介護1・2 障害中度	その他	要介護1・2 障害中度	その他	要介護1・2 障害中度	その他	

西宮市 (447戸)	予約制・確保まで 5年間転居猶予	期限内に転居							0割
----------------------	---------------------	---------------	--	--	--	--	--	--	-----------

兵庫県 (2289戸)	継続入居		判定委員会の判定により一部継続入居				転居	約4割
神戸市 (3805戸)	継続入居	予約制・ 期限猶予	転居	予約制・ 期限猶予	転居	予約制・ 期限猶予	転居	約3割
宝塚市 (30戸)	継続入居							10割
伊丹市 (42戸)	継続入居							10割

※西宮市の予約制とは、重度障害者や重度要介護者がおられる住み替え要配慮世帯に対し、市が案内する市営住宅から希望する市営住宅を複数選び、空きが出た時点で住み替える制度
※兵庫県は、要介護1・2、障害中度の基準に加え、認知症、特定疾患も含まれる
※神戸市は再開発住宅を一部買い取ります

ルゼフィール
武庫川(高須町) 102戸

借り上げ復興公営住宅とは
阪神淡路大震災では、自治体の復興公営住宅の建設が間に合わず、民間事業者やUR(旧住都公団)から借りあげ供給しました。西宮市は5棟447戸をURから借り上げています。その期限の20年が近づいていることから、住み替えを求められ入居者の間に不安が広がっています。

踏みにじらないで!!
「住み続けたい」の声

「今の住宅に入れて生き延びることができたと思いましたが、市は出てくれと。それ以来心臓が悪くなりました。追い出しは絶対やめてほしい」
(79歳・女性)

「仮設住宅から3回目で当選してやっと入居できました。このまま一生おかしして欲しい。今から出るというのは死ぬというのと同じ。」
(85歳・男性)

「やっと終の棲家に落ち着いたのに。入居時に退去のことなど知らされていません。私たちはモノではない。」(65歳・男性)



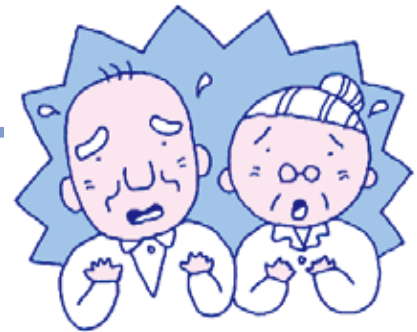
借り上げ 住宅問題

「全員転居せよ」と西宮市方針

きわだつ冷たさ

2012年7月に西宮市が実施した入居者アンケートで「転居困難」と約27%が回答しています。阪神淡路大震災では、仮設住宅や復興住宅で孤独死が相次ぎ、コミュニティの重要性が教訓とされました。このコミュニティを離れ転居することは、高齢者にとって命にかかわる問題です。

宝塚市、伊丹市は希望者全員の継続入居を発表、兵庫県と神戸市が一部継続入居に方針変更しているなかで、西宮市だけが、継続入居を一切認めない、突出して冷たい姿勢をとっています。西宮市は、「宝塚や伊丹とは規模が違う」「神戸や県が一部継続入居を認めたのは、住み替え用の受け皿住宅が不足しているから」と、他の自治体と条件が違うことを理由に上げており、入居者の実態よりも、市の都合を優先しています。



**事前通知を怠った西宮市
明け渡し請求の根拠なし**

公営住宅法は、第25条第2項で借り上げ住宅借り上げ期間満了時に住宅を明け渡し旨、入居決定時に通知することを義務付けています。ところが西宮市はこの事前通知をしていないために、住宅の明け渡しを請求する法的根拠はありません。

ウラには 市営住宅の大削減計画あり

現在、西宮市は約1万戸あった市営住宅を2021年度に8600戸にする計画をすすめています。市営住宅の新規入居は年平均わずか約220世帯で、応募倍率は10倍、20倍を超える狭き門です。借り上げ住宅447戸をURに返還すれば、2年間市営住宅の募集を中止することと同じことになります。借り上げ住宅問題とは、市営住宅への入居を希望する市民にもかかわる重大問題です。

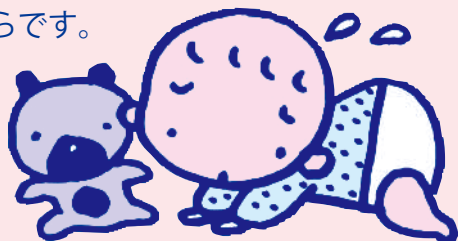
日本共産党西宮市議員団は、UR住宅の借り上げ期間延長、もしくは買い上げで継続入居できるよう、また市営住宅の大削減計画の撤回を求めてがんばります。

保育所待機児童は「ゼロ」?

市は4月1日現在で保育所待機児童はゼロになったと発表しました。実際には申し込んだものの保育所に入所できなかった子どもは250人もいます。

- ①育児休暇中の人
- ②自宅で求職中の人
- ③特定保育所のみ申し込み者等の人数を除いているからです。

2013年度は90人定員の民間保育所が3園整備されますが、今後も認可保育所の増設で待機児童を解消すべきです。



小・中学校の普通教室にエアコンが設置されます

2013、14年度の2年間で中学校、2014年度には4小学校で、エアコンが設置され、2015年度から他の小学校にも設置されます。

市民のみなさんが議会への請願や市との交渉で運動を進め、議会では日本共産党市議団が強く求めてきたことにより実現しました。

